

令和2年度 前期学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

前期学校評価の結果をお知らせいたします。紙面の都合上、保護者の学部別アンケート結果のみを掲載しております。教職員と保護者全体のアンケート結果の比較と、児童生徒のアンケート結果は、ホームページに掲載させていただきますので、そちらをご覧ください。

- ◆方法 保護者、教職員は各項目について「重要度」と「実現度」を5段階で回答
児童生徒は「実現度」のみ5段階で回答

◆回答率

	保護者（234）	児童生徒（235）	教職員（152）
回答数	201	57	143
回答率	85.8%	24.3%	94.0%

*保護者は1家庭にアンケート1組を配布

【保護者アンケート結果 重要度・実現度】

- 保護者の学部別アンケート結果の重要度は「重要である」と「やや重要である」、実現度は「よく出来ている」と「大体出来ている」の回答を合わせた割合（％）を学部別に表示する。実現度の高いもの（90％超）項目に水色、低い（60％台以下）項目に薄いグレーを着色し、表示する。

1. 健やかな身体をつくる	重要度			実現度		
質問項目	小	中	高	小	中	高
①学校では健康維持や体力づくりに関する取り組みが十分に行われている	100.0%	100.0%	100.0%	95.7%	92.8%	89.4%
②児童生徒は、身体の健康に留意して学校生活を送っている	98.7%	100.0%	100.0%	90.1%	96.4%	95.8%
③校内や教室は、清掃され美しく衛生的である	100.0%	100.0%	100.0%	95.8%	88.9%	99.0%
④教材や備品の整理整頓、安全・事故防止に配慮している	100.0%	100.0%	100.0%	90.2%	92.6%	96.8%

2. 元気にあいさつをする	重要度			実現度		
質問項目	小	中	高	小	中	高
①児童生徒は、自分なりの方法であいさつをしている	97.3%	100.0%	98.9%	90.1%	85.2%	84.3%
②教職員は、児童生徒や保護者、来校者にあいさつをしている	97.3%	100.0%	100.0%	93.0%	82.6%	94.7%

③児童生徒はきまりや約束を守って学校生活を送っている	97.3%	96.6%	100.0%	81.4%	85.1%	91.5%
④教職員は、児童生徒の規律ある生活習慣・ルールを守る態度の育成を図っている	97.3%	100.0%	100.0%	88.7%	85.2%	94.8%
⑤教職員は、児童生徒に適切な言葉遣いや態度で支援をしている	98.6%	100.0%	100.0%	91.6%	92.6%	95.6%

3. 考え、工夫し、生き生きと表現する	重要度			実現度		
質問項目	小	中	高	小	中	高
①児童生徒は、達成感や満足感を持って学習に取り組んでいる	100.0%	100.0%	100.0%	84.2%	88.9%	93.4%
②児童生徒が理解しやすいように授業や教材に工夫が見られる	100.0%	100.0%	98.9%	94.2%	85.2%	94.5%
③学校は、児童生徒が生き生きと主体的に取り組む行事や授業をしている	100.0%	100.0%	100.0%	88.5%	88.8%	91.3%
④教職員は、児童生徒の学習の成果や努力について適切に評価している	100.0%	100.0%	98.9%	95.7%	96.3%	97.9%

4. 願いや夢を持って心豊かに生きる	重要度			実現度		
質問項目	小	中	高	小	中	高
①本人や保護者の願いが個別の包括支援プランに反映されている	100.0%	100.0%	99.0%	97.1%	96.2%	95.7%
②保護者と学校は、児童生徒の願いや目指す姿を共有している	98.6%	100.0%	100.0%	88.4%	96.3%	95.7%
③保護者、担任だけでなく、関わる教職員で児童生徒の実態や学習内容が共有できている	98.7%	100.0%	99.0%	67.5%	80.5%	83.9%
④児童生徒の目標や課題に応じた進路学習や関係機関との連携ができており、適切な進路指導ができています	91.8%	100.0%	100.0%	55.0%	59.2%	83.7%
⑤園や小・中学校との引き継ぎが確実に行われ、継続した支援ができています	97.3%	93.4%	98.9%	59.4%	77.7%	72.0%

5. 役割を担い、役に立とうとする	重要度			実現度		
質問項目	小	中	高	小	中	高
①学校は、児童生徒が主体的に組み込み、自己有用感を高められる活動や場を設定している	95.8%	100.0%	100.0%	82.6%	80.4%	86.0%
②児童生徒は、任された役割や係活動等にやりがいを持って、学校生活や家庭生活を送っている	97.3%	100.0%	96.9%	81.7%	96.3%	88.0%
③保護者は、学校と協力して家庭でも教育活動を進めている	95.9%	100.0%	97.9%	74.6%	74.0%	79.3%

6. 他者とともに生き、学び合う	重要度			実現度		
質問項目	小	中	高	小	中	高
①児童生徒は、友達を大切にしようとする気持ちを持って、学校生活を送っている	98.7%	100.0%	95.9%	63.3%	84.6%	86.1%
②交流及び共同学習では、児童生徒は楽しんで意欲的に活動している	97.3%	96.7%	97.9%	78.5%	76.9%	81.9%

③地域社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための視点が教育活動に反映されている	90.6%	93.3%	93.9%	40.3%	51.8%	68.1%
--	-------	-------	-------	-------	-------	-------

7. 新型コロナウイルス感染症に伴う取組	重要度			実現度		
	小	中	高	小	中	高
①家庭学習教材, 保護者や児童生徒への連絡・情報の提供等が適切にされている	88.6%	100.0%	98.0%	94.4%	89.9%	95.7%
②学習活動では感染拡大防止対策が適切にされている	97.3%	100.0%	100.0%	81.6%	88.8%	86.2%

◆考察

【1. 健やかな身体をつくる】

保護者の実現度を見ると、日々の活動や指導に対して高く評価をいただいています。今後も継続して、日々の環境整備や学校安全日・環境整備日に個々に取り組んでまいります。また、今年度は感染防止対策として全教職員で校内の消毒にも取り組んできました。児童生徒の実現度では基本的な生活習慣の「早ね、早起きをしていますか」に対して少し課題が伺えます。学校は今後も家庭と連携し、規則正しい生活リズムについて支援していきます。



【2. 元気にあいさつをする】

全質問項目に対し保護者、教職員とも高い評価をしています。朝のあいさつ運動など日ごろの取組の成果が表れていることがわかります。また、子ども達は身近な大人を見本として態度を身に付けていきます。子ども達の規範意識を育てるために、教職員が丁寧で適切な言葉遣いや行動を示すなど、モデルとしての姿勢や態度を大切にしていきたいと考えます。



【3. 考え、工夫し、生き生きと表現する】

教職員は、子どもが、できる力を発揮し主体的な活動を促せるよう学習活動を計画したり、設定したり、教材・教具を工夫するなど学習環境を整えたりすることを大切にしています。保護者は連絡帳や授業参観などを通して日ごろの学習の取組について高い評価につながったと考えられます。また、児童生徒アンケートの「先生は、わかりやすくおしえてくれますか」に対し高い評価につながっていると考えられます。今後も、教職員は、子ども達が生き生きと活動し「授業が楽しい」と感じるように、研究や研修を積み重ね授業改善に取り組めます。



【4. 願いや夢を持って心豊かに生きる】

保護者、教職員とも「本人や保護者の願いが個別の包括支援プランに反映されている」「保護者と学校は、児童生徒の願いや目指す姿を共有している」の項目では高い評価をしています。日ごろからの保護者との相談や個別懇談会、ケース会で保護者の願いや思い、児童生徒の願いや目指す姿を共有できていることが伺えます。一方、児童生徒の引継、情報の共有、関係機関との連携の質問項目は低い評価となっています。この項目は、昨年度のアナケートでも同様の評価を示しており、質問のわかりにくさや具体的にイメージしにくい点もあると考えられ質問項目の見直しなども必要であると考えられます。



【5. 役割を担い、役に立とうとする】

保護者、教職員とも約 85.0%の評価をしています。学校では、学級活動や学習で、係り活動などできることで役割を担うこと、友達と協力して取り組むこと、地域とかかわり活動すること等、生活年齢に応じた学習に取り組んでいます。また、児童生徒も役割や係活動にやりがいを持っていることが伺えます。今後も学校と家庭が連携し、より多くの場で児童生徒が力を発揮できるよう取り組んでいくことが大切だと考えます。



【6. 他者とともに生き、学び合う】

保護者、教職員とも「児童生徒は、友達を大切にしようとする気持ちを持って、学校生活を送っている」の質問項目で高い評価をしています。また、児童生徒アナケートの「友達と仲良く過ごさせていますか」などの質問項目でも高い評価をしています。児童生徒が学校生活を通して心身ともに成長し、友人関係を深め周りの人を大切にしながら学校生活を送っていることが伺えます。一方で、「地域社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための視点が教育活動に反映されている」の項目では、保護者、教職員とも低い評価となりました。児童生徒の「自分らしい生き方」について具体的に描き、保護者と教職員の間で、共有できるよう取り組むことが大事だと考えられます。



【7. 新型コロナウイルス感染症に伴う取組】

保護者、教職員とも質問項目に対して高い評価をしています。学校は感染拡大防止対策では「北総合スタンダード」を配布し学校としての基本的な対策を明確し、全教職員が取り組んでいます。また、新型コロナウイルスに関わる情報提供や保護者への連絡を的確に行うことで、日々の安心安全な学校生活につなげることができたことが伺えます。



学校では、アナケート結果をもとに、全教職員が全体の傾向や自身を振り返り、具体的な改善策や取組を話し合い、実践していきます。

後期の学校評価アナケートは、1月中旬に実施する予定です。よろしくお願い致します。